

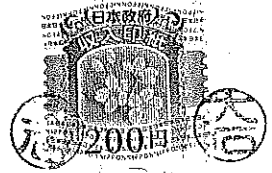
領収書

生活者ネットワーク 様

2020年4月23日

¥195,000


但 議会レポート No. 43 印刷、折り代



オオイシファーム

代表 大石 幸人

東村山市富士見町5-4-1-106
〒189-0024

FAX 042-395-9519
携帯 

領収書

生活者ネットワーク 様

2020年7月27日

¥165,000


但 レポート No. 44 印刷、折り代



オオイシファーム

代表 大石 幸人

東村山市富士見町5-4-1-106
〒189-0024

FAX 042-395-9519
携帯 

領収書

生活者ネットワーク 様

2020年11月2日

¥165,000


但 レポート No.45 印刷、折り代



オオイシファーム

代表 大石 幸人

東村山市富士見町5-4-1-106
〒189-0024

FAX 042-395-9519
携帯 

領収書

生活者ネットワーク 様

2021年1月21日

¥165,000


但 レポート No.46 印刷、折り代



オオイシファーム

代表 大石 幸人

東村山市富士見町5-4-1-106
〒189-0024

FAX 042-395-9519
携帯 

生活者ネットワーク 市議会レポート

2020年4月20日発行 No.43

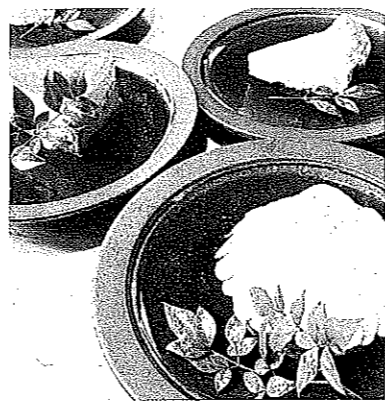
小平・生活者ネットワーク事務所
電話・FAX▶042-342-4494
メール▶kodaira@seikatsusha.net



政治と生活者をつなぐ



山浦まゆみ 山崎とも子 さとう悦子



ケーキを彩る葉っぱは、ITを活用しやりがいをもって仕事をしている生産者が収穫

1月下旬、生活者ネットワーク会派で視察に行ってきました。

初日は香川県高松市。在宅医療・介護連携事業や高齢者の居場所事業について先進的な取り組みをしています。市や関連団体が連携して地域包括支援体制という目指すべき姿に向かっている様子に刺激を受けました。

2日目は日本で初めてごみゼロ宣言を行った徳島県上勝町へ。徹底したごみ再資源化の取り組みを見学、1986年にスタートし全国的に有名な事業となった葉っぱビジネスについても説明を受け、インターシップによる世代交代や移住者の増加が進むなか、若い世代が活躍する場

視察報告 視察の学びを政策に活かしていきたいまよー！

が少しずつ増え、まさに活気や新たな魅力が生まれつつある様子を感じることができました。

最終日には子ども施策に力を入れ7年連続で人口増、税収も出生率も増加することに成功した兵庫県明石市を視察しました。子ども総合支援条例制定の経緯について話を聞いたあと、子育て支援センターや健康センターとともに図書館、中高生の世代交流施設などがまとまって入って



上勝町でのごみ分別は13品目45分別。紙類だけでも9種類と徹底的！

いる、とても魅力的な複合施設「パピオスあかし」のなかを案内していただき、小平市に今必要なことについても考えさせられました。

見習うべき施策を行う自治体を訪れて担当者から施策についての詳細を聴き、またそのまちな状況を実際に見て感じることは非常に有意義であり、こうして得た見識を小平市の施策提案にも活かしていきたいと思っています。

視察に関する情報については機会をとらえてHPやイベントなどを通してご報告していきます。



パピオスあかしにて。左から 山崎、さとう、三原（福生ネット）、山浦

新型コロナウイルスに係る対応についての緊急要望書を3月6日に提出！

政府から突然の小中高校の一斉休校の要請により、小平市でも公立小中学校が3月2日から一斉休校となり、公共施設等の閉鎖も決定されました。

子どもたちは感染防止のため極力外出を控え自宅で学習とのことですが、行き場もなく過ごしており、高齢の方は地域活動ができないなど、保護者の就労や地域経済にも影響するなかで多くの方から不安や戸惑いとともに具体策を求める声が届いています。特に子どもたちの居場所の確保と、地域の安全対策に向けて、早急かつ柔軟に対応して頂きたく、生活者ネットワークとして、市と教育委員会へ緊急要望書を提出しました。

【お問合せ先】

小平・生活者ネットワーク事務所
小平市学園西町2-15-2 GB一橋学園
電話・FAX/042-342-4494
メール/kodaira@seikatsusha.net

3月議会報告

2020年度一般会計予算が賛成多数で可決しました。歳入歳出総額は690億8600万円。生活者ネットは、より支援が必要な事業に注力した堅実な予算編成と評価し賛成しました。また、国民健康保険事業特別会計予算には反対し、セーフティネットの機能充実を強く求めました。

市政に市民の声を反映し、市民自治をめざすために

子育て世代包括支援センターを健康センター内に新設

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援をするために、妊婦全数面接会場の拡充や相談体制の充実、産後ケア事業が開始されます。生活者ネットワークは、子ども家庭支援センターや2022年度に開設予定の児童発達支援センターとも連携をしっかりと行い、誰ひとり取り残されることのない子育て支援を要望しました。

大型事業が本格的に始動！市民の声を反映していくために

2020年度は小川駅再開発事業や鷹の台駅前広場整備、鎌倉公園などの整備に向けた取り組み、公共施設の複合化など、大型事業が次々に着手されていきます。少子高齢化により市税収入の減少も予測されているなか、小平

市の将来像を見据えた上で本当に必要な都市基盤は何かを柔軟に見直していくことも重要です。市民の声を反映していくためにも丁寧な対話の場をつくらせていくことを今後も市に働きかけていきます。

教育や福祉施策の拡充に向けて

中学校への特別支援教室導入に向けた整備を進め、教員のストレスチェックの導入など働き方改革に着手します。給食センターの更新についてはどのような事業者を選定していくのか、食の安全や食育の観点からも注視していきます。

高齢者・障がい者施策については、医療と介護の連携、相談窓口の充実はもちろんのこと、介護をする家族の支援体制を整えていくことも必要です。

市民生活の負担増となる国保に反対

小平市国民健康保険条例の一部を改正する条例（国が求める一般会計からの法定外繰入れ金を段階的に解消するための条例改正）に基づき組まれた予算です。市民の負担がより重くなるとの判断で反対しました。

国民健康保険をセーフティネットとして機能させるため、国はさらなる財政投入するべきです。市として国に強く要望することを求めました。

香りがもたらす害について、生活者ネットワークが提案！！

「柔軟仕上げ剤等家庭用品に含まれる香料の成分表示などを求める意見書」

12月議会で継続審査となっていました。3月議会で全会一致で可決しました。現在、香料成分は表示する義務がありません。消費者が商品を購入する際に必要な情報を得るために、「家庭用品品質表示法」の指定品目とし、香料の成分表示を義務付けていくことを国や関係省庁に小平市議会として意見書を提出します。

これまで生活者ネットが香害について問題意識をもって取り組んできた成果だと捉えています。

生活者ネットワーク代表質問

さとう悦子

小平市の農業の発展と地域活性のために

2022年には小平市の生産緑地の多くが買取申出可能となります。生産緑地の大幅な減少が懸念されていますが、市、JA、農業者が一体となり農業・農地を守っていく姿勢が示され安心しました。

また、学校給食での地場産農産物の利用は30%に迫っており、他市に例を見ない画期的な取り組みを行っています。様々な主体が協働して実現に至っていることは自慢できることであり、大いに評価します。

小平市のこれからのまちづくりについて

市は鉄道駅3駅を中心としたまちづくりを示していますが、どんなまちにしたいのか市としてのビジョンが示されていません。より良いまちづくりのためには市民参加と協働が欠かせません。ビジョンと情報の共有を求めました。

また、これまで生活者ネットワークとして、緑の保全・創出について「緑のランドデザイン」を描くことを提案してきましたが、次期環境基本計画の中で示すとの答弁がありました。どんなランドデザインを描くのか今後もチェックしていきます。

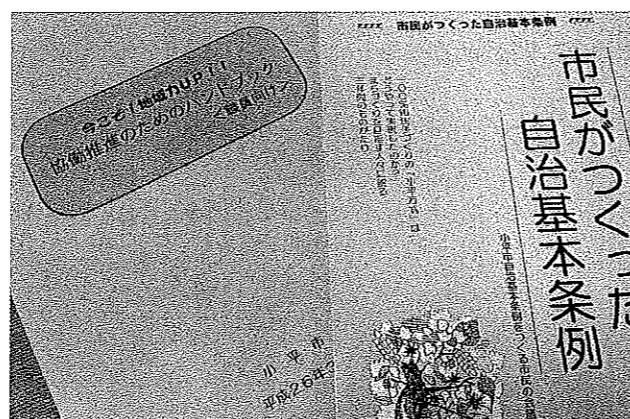


山浦まゆみ 3月議会一般質問報告

持続可能な市民自治を実現させるため参加と協働をさらに進化させよう

小平市で自治基本条例が施行されて10年が経ち、改めて参加と協働への市の意識と取組状況を問いました。「協働の推進に関する指針」の改定により市の抱える課題に対して、市民とより実践的に取り組んでいくという姿勢を確認する一方、市民の生活のなかからの提案にも真摯に耳を傾けてほしいと要望しました。

審議会の運営については、市民委員が発言しにくく、意見の反映も見えにくいという声もあります。市としての現状認識や、若者、高齢者、障がいのある方などの参加状況、参加における工夫についても現状を再確認しましたが、まだまだ認識の甘さや改善の余地を感じました。より多様な市民が参加しやすく、かつ声が届いていると実感できる体制づくりになるよう強く求めました。



市民と市職員ともに参加と協働、そして市民自治への意識の向上が大切。

山崎とも子 3月議会一般質問報告

ドメスティック・バイオレンス防止対策と被害者支援について

政府の調査によるとDVの相談件数は年々増えています。また、児童虐待の背後にDVがあると考えられる事件も跡を絶ちません。DV被害者を支援していくために、相談支援体制や関係機関との連携をはじめ、避難した後の生活の見通しを考えられるような切れ目のない支援が必要だと訴えました。また、DVを防止するために中・高・大学生への予防啓発、加害者更生プログラムの重要性を訴えました。



DV防止にとりくむ市民団体の相談先を記載したカード

地域とともに子どもたちを育てていくために

市では現在小学校で9校、中学校で2校がコミュニティ・スクールの指定を受けています。学校運営協議会を設置することで保護者や地域住民が責任と権限をもって学校経営に関わっていくことだと確認できました。教育委員会だけではなく、市長部局とも連携し学校を核として地域がゆるやかにつながり、学校、家庭、地域で連携・協働し、子どもの育ちを見守る関係を築いていくことを期待します。

さとう悦子 3月議会一般質問報告

家庭ごみ有料化・戸別収集の検証について

事業の開始から約1年。この間に見えてきた課題などを検証することが必要です。より市民に寄りそった事業を展開し、さらなるごみの減量を実現するために質問しました。

問題点として、高齢者だけでなく多くの人が複雑な分別に戸惑い困っており、サポートが必要でもなかなか声を上げられないケースが多いことを訴え、現状では足りていないサポートをカバーする体制をつくることを要望しました。

市は使い捨て型の大量消費を見直し、資源循環型社会をめざすといっています。事業開始後、ごみの量は18%減っており1年目の目標を達成しましたが、市民の努力に頼るだけではなく、拡大生産者責任をしっかりと追及していく姿勢を求めました。

また2023年の次期計画策定までの間、ごみの組成分析などを行い検証するとのことでした。収集袋の値段をどうするかなど幅広く市民の意見を聞く必要があることを訴えました。



分別されていない、回収日が違うなどで収集されずにごみがたまっていく集合住宅も。

- 3月
議会運営委員会
にじいろパズル
「空き家を地域の価値にかえる仕事をつくる」オンラインセミナー
17(火) 予算特別委員会(一般会計)
18(水) 予算特別委員会(特別会計・下水道事業会計)
19(木) 総務委員会
23(月) 厚生委員会
24(火) 幹事長会議
25(水) 議会運営委員会
26(木) 本会議(最終日) / 広聴広報特別委員会
29(土) 幹事長会議
7(金) 都市議長会議員研修会
8(土) シンポジウム「10年後の小平をデザインしよう」
9(日) 女と男のフォーラム「なくそう!ハラスメント」
10(月) にじいろパズル/地域振興課JAむさしヒアリング/小平・村山・大和衛生組合議会/都市計画審議会
12(水) 学習会「食の安全を地域から問い直す」
14(金) 小平・村山・大和衛生組合議会予算説明/こだついで 健康推進課・子育て支援課と懇談
16(日) 小平ネット学習会「いいの?水道民営化」
18(火) 議会運営委員会
19(水) 小平・村山・大和衛生組合議会/子ども子育て審議会傍聴/土地開発公社評議員会
20(木) もんもんカフェ/金曜サロン(防災・まちづくり・コミュニティ)
21(金) 本会議(初日)
25(火) 本会議(代表質問)
26(水) 28(金) 本会議(一般質問)
29(土) 幹事長会議

※掲載したのは活動の一部です。これ以外にもヒヤリングや調査、相談、地域活動など3人の議員がそれぞれ活動しています。

- 1月
7(火) 朝駅前遊説(鷹の台)
8(水) 小平市中学校生徒意見発表会
9(木) 市議会参事訓練と救命講習/政治教養講座「若者の政治参加を考える」
10(金) 朝駅前遊説(花小金井)/駅前遊説(一橋学園)
11(土) 消防団出初式・祝賀会
12(日) 小平ネット周年行事そなエリア江東見学
13(月) 小平市成人式
14(火) 広聴広報委員会/にじいろパズル
15(水) 都市基盤整備調査特別委員会
16(木) 公共施設マネジメント調査特別委員会
17(金) 朝駅前遊説(小平)/もんもんカフェ/金曜サロン(高次脳機能障がいの方の現状と支援)
18(土) セミナー「実家の相続」と空き家問題
19(日) 朝駅前遊説(小川)/ウェルファーム杉並視察
21(火) 朝駅前遊説(小平)/自治体の電力調達に関する学習会
22(水) 都市基盤整備調査特別委員会
23(木) ネット議員とおしゃべりタイム(香害について)
24(金) 長期総合計画特別委員会
25(土) 鎌倉公園ワークショップ
26(日) 放課後カフェから考える中学生の居場所づくり(コールド田無)
27(月) 29(水) 会派視察
31(金) 総務委員会
2月
2(日) 都市農地保全自治体フォーラム
3(月) 生活文教委員会
4(火) 厚生委員会
5(水) 環境建設委員会
6(木) 全員協議会・議員研修

ネット議員の活動口誌



生活者ネットワーク 市議会レポート

2020年7月20日発行 No.44

小平・生活者ネットワーク事務所
電話・FAX▶042-342-4494
メール▶kodaira@seikatsusha.net



政治と生活者をつなぐ



山浦まゆみ 山崎とも子 さとう悦子

生活者ネットワークは、
新型コロナウイルス感染症に伴う市の対応に関して、
市民団体へのアンケートや市民の声をもとに
3月から4月にかけて5回に渡り要望書を提出しました

◆子どもたちの居場所確保と
地域安全対策を早急に講じる
ことを要望

感染症拡大防止のため、政府の要
請を受けて市は3月2日から市立小
中学校の一斉休校、公共施設の閉鎖
を決めました。

突然の休校に保護者は仕事を休む
ことができず、子どもだけで家で過
ごすことへの不安や戸惑いの声が多
くあり、教室や校庭を開放するよう
要望しました。

◆発熱外来の設置やコロナ禍
での大幅な収入減になった事
業主などへの家賃補助を要望

多摩地域での検査体制の強化、感
染症拡大防止による大幅な収入減や
失業した人に対する相談窓口の設置
生活資金や家賃の補助、虐待やDV
被害者に対する支援の拡充などを要
望しました。一般会計補正予算第3

号で医師会と市が連携して設置する
PCRセンターに対し補助金を計上
しています。また、市の独自施策と
して収入減になった事業者に対し4・
5月分の家賃補助を決定しています。

◆臨時休校における
家庭学習支援に関する要望

長引く休校に子ども自身や保護者
から学びが途切れてしまうことを心
配する声が多く上がっていました。

学びを止めないためにも環境整備が
重要です。家庭学習でわからないこ
とを学校に質問できる環境や自宅に
インターネット環境がない家庭に対
しWiFi機器とタブレット端末を
貸与する体制を整えることを要望し
ました。

現在は希望する家庭に8月末まで
貸与されています。



◆特別定額給付金は確実に
必要な人に届けるために
個人宛に支給するよう要望

国が国民に対し一人10万円の
特別定額給付金の支給を決めまし
た。しかし、世帯主宛の申請書な
ので、DV被害者など配慮が必要
な方にも確実に給付金が届くよう
策を講じるべきです。給付対象者
ごとに振込先を指定もできるよう
要望しました。

◆集会施設等の利用者負担
の見直しの凍結を要望

市では「集会施設等の利用者負
担の見直し」の検討を進めていま
すが、コロナ禍により市民との十
分な意見交換が行えない状況です。
日常の市民生活が送れるようにな
るまで凍結すること、コロナ終息
前と後では市民生活も大きく変化
する可能性が大きいことから、終
息後に再度市民との意見交換会を
開催することを生活者ネットワー
ク、フォーラム小平、日本共産党小
平市議団の3会派で要望しました。

6月議会報告

公共施設マネジメントには、市民意見に 真摯に向き合う姿勢をもとめていきます

新型コロナウイルス感染症の影響により、審議会や意見交換会等が開
催できず、市の開発事業にもさまざまな影響が出ています。6月の公共施
設マネジメント特別委員会では、小川駅西口地区市街地再開発事業公共
設マネジメント特別委員会では、小川駅西口地区市街地再開発事業公共
設マネジメント特別委員会では、小川駅西口地区市街地再開発事業公共

小川駅西口の公共床 レイアウト案が明らかに！ 市民の声を届けよう！

小川駅西口公共床のレイアウト案
については今回初めて示されました。
公民館や図書館などが複合化して多
くの機能が入るにもかかわらず、全
体の床面積を縮小する方針から、各
団体や利用者にとって使いやすいレ
イアウトになっているかなど心配す
る声があります。

6月に市民対象のワークショップ
を予定していましたがコロナ禍で開
催できず、ホームページ上の資料の
提示のみになりました。直接レイオ
ウト案への意見を聞くパブリックコ
メントの募集期間が約2週間しか
なかったのは問題です。今後8月にワ
ークショップ、利用者・利用団体へ
のヒアリング、10月にパネル展示型
説明会(オープンハウス)を設ける
予定です。

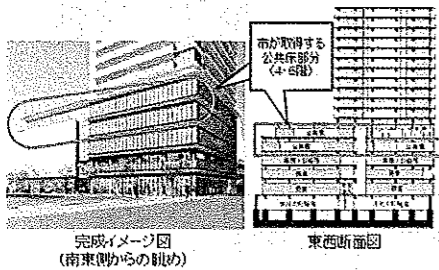
しっかりと市民との意見交換の機
会をもち、場合によっては計画を先
送りにしても充分声を反映するよう
真摯に向き合う姿勢を今後も強く求
めていきます。

小平第十一小中学校は 未来志向の視点で建替えを

小平第十一小中学校の建替えは、近
隣の福祉施設や公民館などを小中
複合化する初めての事例です。

学校を拠点とした地域コミュニティ
の核となる場への期待とともに、
学校自体も、壁のないオープン教室
など子どもの自主性をはぐくむつ
りにするなど、市民の声を聴きつ
情報を集め、これまでの常識にとら
われないレイアウトの検討を求めて
いきます。

小川デザインプロジェクト基本
設計レイアウト(巻)のポイント
資料から
西部市民センターと小平元気村
おがわ東の一部が入る。

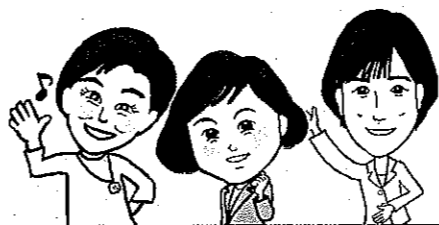


私たちが未来
を見据えつつ
今使いやす
と思える施設
を創っていく
ことが重要で
す。
(山浦まゆみ)

公共施設マネジメントの 方向性については しっかりと議論が必要

市は少子化、高齢化を背景とする
税収や人口の減少を根拠に、今後建
替える公共施設は基本的に床面積を
2割削減していく方針です。しかし
現在小平市は人口が増えています。小
子どもの増加に伴い保育園や学童も
毎年増設されています。こうした現
状のなかで、床面積を一律に縮小す
る方針を推し進めるだけでは、行政サ
ービスの低下にもつながりかねませ
ん。今回のコロナ禍でオンライン化
が進んだことにより、今後さらに都
心部からより環境の良い郊外への人
口流入も考えられます。

負の遺産を後世に残さないことが
公共施設マネジメントの大きな目的
であるとするならば、利用してい



【お問合せ先】
小平・生活者ネットワーク事務所
小平市学園西町2-15-2 CB一橋学園
電話・FAX/042-342-4494
メール/kodaira@seikatsusha.net

市民と議会の意見交換会の開催のお知らせ

- ……4つの常任委員会ごとに開催します……
- 生活文教委員会(山浦まゆみ所属)・・・11月1日(日)(午前)
 - 環境建設委員会(さとう悦子所属)・・・11月2日(月)(夜間)
 - 総務委員会・・・11月5日(木)(夜間)
 - 厚生委員会(山崎とも子所属)・・・11月6日(金)(夜間)

* 予定が変更になる場合があります。
* 詳細はお問い合わせください。



議会改革

**小平市議会では、
災害対策連絡会議
を設置しました。**

小平市議会では新型コロナウイルス感染症対策として、5月25日小平市議会災害対策連絡会議が設置されました。議会基本条例13条に基づき決定した小平市議会災害対応指針によるものです。連絡会議は市民や地域からの情報収集、市の対策本部との情報共有、意見書提出などの活動を目的としています。

これまでに生活者ネットワークに寄せられた感染症対策に関する要望や提案などは小平市災害対策本部に提出してきましたが、連絡会議設置後は、全会派が賛同する要望などは議会一丸となって提案できます。

災害時は特に市民や地域の意見を市と共有することが大切です。今後も皆様のご意見、ご提案、ご要望など生活者ネットワークにお寄せください。



議会の様子はインターネットで見ることができます。ぜひご覧ください。
小平市議会アドレス
<http://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>

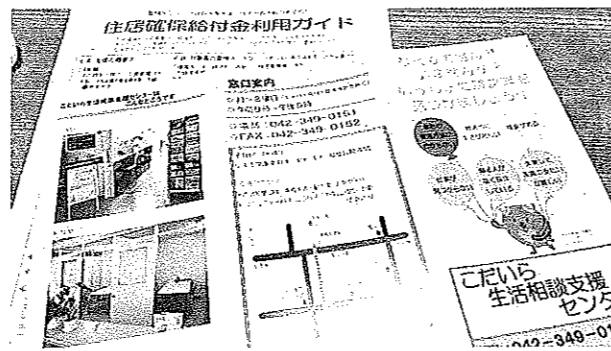
※掲載したのは活動の一部です。これ以外にもヒヤリングや調査、相談、地域活動など3人の議員がそれぞれ活動しています。



山浦まゆみ 6月議会一般質問報告

**いかなる状況下でも相談や支援、
居場所が必要な人たちを支えられる仕組みを**

外出自粛生活を余儀なくされたコロナ禍において、生活に不安がある人やDVや虐待などにより自宅に居場所がない人、産前産後のサポートが必要な親子、心身に疾患、障がいのある人など、困難な事情を抱える方々に対して、感染防止に配慮しつつもそれぞれ相談体制は確保されていたのか、適切な対応はできていたのか、また反省すべき点は何だったのかを市民や事業者の声や要望等をもとに確認しました。さらに、今後の状況を見据え、可能などころはオンライン体制を整えることや、生活相談体制や自殺防止対策の充実化、支えが必要な方々が声を出しやすい仕組みや居場所づくり、そしてこうしたサービスを提供している方々への待遇改善や環境整備を要望しました。



生活相談支援センターへの相談件数は4月、5月に急増していたことを確認。そのほとんどが住宅支援に関する相談だった。

山崎とも子 6月議会一般質問報告

子どもたちの育ちや学びを保障するために

新型コロナウイルス感染拡大防止のため市立小中学校は臨時休校となり、長引く休校や療育の休止から学習面や生活リズムなどについて戸惑いや不安感を抱いた家庭は多くありました。休校中の児童生徒に対する対応は、学校ごとに違いがあったことや、療育が休止中の子どもや家庭への支援について質問をしました。

また、オンライン授業については、どのように取り入れていくかは検討中とのこと。不登校の子どもたちの学習にも有効活用できるよう要望しました。

**市の事業を支える人たちが
安心して働いていくために**

コロナ禍で市の要請により施設の閉館や休業を余儀なくされ、業務を遂行できなかった場合の休業補償の考え方や市民サービス向上の今後のあり方について質問しました。よりよい公共サービスを提供するためには、市の職員はもちろん、指定管理や委託事業で働く人の労働環境や賃金保障などの充実が不可欠と訴えました。



今年は運動会もできなくなった。

さとう悦子 6月議会一般質問報告

**自粛期間の市の事業や計画への影響
について**

コロナ禍の中、市民生活、市の職務、議会活動が制限される状況で、市の計画策定などの業務がどのように進められたのか質問しました。審議会などをWEB会議や書面のやり取りで進めたほか、顔を合わせての意見交換ができないという理由でスケジュールが先送りになったものもありました。

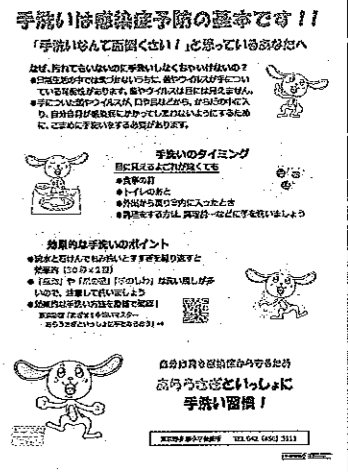
若い人の参加が期待できるWEB会議のメリットを生かしながらも、必要であれば計画期間を延期するなど柔軟な姿勢を求めました。

**新型コロナウイルス感染症対策の経験を
小平市の災害対策に生かすために**

感染症が蔓延する状況でも大きな地震などの災害が起きるかも知れないと避難所生活を心配する声が多く寄せられました。避難所での隔離用のテントの準備や、消毒液の確保、防疫体制の充実、使い捨てマスクと布マスクの備蓄などを要望しました。

手洗いに十分な水が必要なことから井戸の設置を要望しました。

多摩保健所が「手洗い習慣」を呼びかけているあらうさぎのチラシ。「咳エチケット」のますくまチラシもある。



ネット議員の活動日誌

- 4月
 - 10 (金) 臨時幹事長会議／臨時議会運営委員会
 - 13 (月) 東京ネット環境部会WEB会議
 - 14 (火) 広聴広報特別委員会
 - 16 (木) 東京ネット福祉部会WEB会議
 - 20 (月) 「新型コロナウイルス感染症に係る対応についての緊急要望書」提出
 - 23 (木) 「集会所施設等の利用者負担の見直しについての要望書」提出／「特別定額給付金事業に関する要望書」提出
 - 24 (金) 「新型コロナウイルス感染症予防策における家庭学習支援に関する要望書」提出
 - 28 (火) 東京ネット環境部会WEB会議
 - 29 (水) 東京ネットジェンダープロジェクトWEB会議
- 5月
 - 8 (金) 幹事長会議
 - 11 (月) 議会運営委員会
 - 13 (水) オンラインもんもんカフェ
 - 14 (木) 幹事長会議／小平市土地開発公社評議会／東京ネット環境部会WEB会議
 - 15 (金) 議会運営委員会
 - 19 (火) 臨時議会
 - 25 (月) 幹事長会議
 - 26 (火) にじいろパズルWEB会議
 - 28 (木) 議会運営委員会
 - 29 (金) 東京ネット環境部会WEB会議
- 6月
 - 2 (火) 本会議(初日)
 - 3 (水) 5(金) 一般質問
 - 6 (土) 「みんなの学校」をどう作るのかWEB集会
 - 8 (月) 第4次長期総合計画特別委員会
 - 9 (火) 総務委員会傍聴
 - 10 (水) 生活文教委員会
 - 11 (木) 厚生委員会
 - 12 (火) 環境建設委員会
 - 15 (月) 東京ネット子ども部会WEB会議
 - 16 (火) 広聴広報特別委員会
 - 17 (水) 都市基盤整備調査特別委員会
 - 18 (木) 公共施設マネジメント調査特別委員会
 - 22 (月) 幹事長会議
 - 23 (火) 議会運営委員会
 - 25 (木) にじいろパズルWEB会議
 - 26 (金) 本会議(最終日)／広聴広報特別委員会
 - 30 (火) 第4次長期総合計画特別委員会

生活者ネットワーク 市議会レポート

2020年10月26日発行 No.45

小平・生活者ネットワーク事務所
電話・FAX▶042-342-4494
メール▶kodaira@seikatsusha.net

政治と生活者をつなぐ



山浦まゆみ 山崎とも子 さとう悦子

補正予算の主な内容	
住居確保給付金の増額 (生活困窮者対策)	6,770万円
キャッシュレス購入へのポイント付与	2億6,000万円
公立昭和病院への支援金 (コロナ感染症患者の受け入れ)	1億7,900万円
障がい事業所職員支援金	110万円
小中学校のPC購入費用	5億400万円
市役所、健康センターのエレベーターの 改修・換気扇の設置	1億7,845万円

新型コロナウイルス感染症対策のための
補正予算が臨時議会で可決

生活者ネットは今後の感染症 対策に軸足を置いた予算と判 断し賛成

8月4日臨時議会が開催され、歳入歳出それぞれ16億1200万円を増額する小平市一般会計補正予算(今年度4回目)が議案として提出されました。

本補正予算は、今後予想される感染症対策に軸足を置いた予算編成になっており、新しい生活様式のため

の予算が事業者・生活支援のための予算の2倍近くの割合となっており、

本補正予算に対し、政和会(自民党系)より組み替え動議が提出され、その内容は、感染症対策として計上された施設整備費などを減額し地域振興券の発行事業に充てるというものでした。生活者ネットワークとしては、地域振興券はある程度金銭的に余裕のある人しか使えないこと、感染症対策としての施設整備は今後の市民生活に必要であるとの考えから本組み替え動議に反対、市民や事業者の生の声を聴き速やかに施策に反映させる体制の構築を要望し、原案に賛成しました。

新型コロナウイルス感染者の詳細な情報の提供を求める意見書は審査継続を提案(厚生委員会付託)

新たな差別を生まないために
情報は慎重に取り扱うべき

本意見書は小平市内のコロナ感染者の詳細な情報提供を東京都に求めるものです。

9月定例会にこの意見書が上程された後、東京都から市に対し詳細な情報提供がなされ、市では9月6日の週から週ごとの入院人数、宿泊療

養者数、自宅療養者数、調整者数と年代別の状況をホームページで公表しています。審査の中で、市は東京都から得ている情報量で足りていないこと、クラスターが発生した場合はその都度詳細な情報を得ることができると、北多摩北部保健医療圏との意見交換を行っており情報が滞ることはないことがわかりました。

新型コロナウイルス感染症の状況は刻々と変化しており、市は状況に合わせて速やかに対応していくべきです。小平市議会として意見書を東京都に提出するのであれば、今後の感染状況に合わせ、さらなる感染症対策を求められるように考え審査継続を提案しました。

生活者ネットワークは情報公開を進めていくことについて市に提案を続けていますが、同時に個人情報やプライバシーについても慎重に取り扱うべきであると主張をしています。新型コロナウイルス感染症により、感染者や医療従事者などのエッセンシャルワーカーへの誹謗中傷や差別があるのも事実です。個人が特定されることのないよう配慮をしていく必要があります。

9月議会報告

コロナ禍、ますます厳しい状況を乗り越えるための補正予算に賛成

9月議会では選挙管理委員会と人事案件2件、一般会計・特別会計補正予算のほか、小平市建築基準行政事務に関する議案、小中学校の教育用PCの買い入れについてなど28件が提案されました。

深刻化が予測されるコロナ禍 対応のための財源確保を

地方交付税、臨時財政対策債発行可能額が当初の見込みより増額されるなど、約17億7800万円の補正予算が編成されました。

私立保育園一園の新設、0〜2歳の多胎児家庭への移動支援として子ども商品券の追加配布、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、認知症グループホーム・小規模多機能型居宅介護施設の新設などがあります。

今年度コロナ禍の影響で中止になった行政視察や、市民まつりなどのイベントの費用総額1億1600万円が減額されました。来年度以降、市税収入の減が見込まれることから、市の貯金である財政調整基金・都市計画事業基金にその費用を含めた約7億円を繰り入れたことは妥当な判断と捉えています。

小平市建築基準行政事務が 都から移管

また、本補正予算に対し政和会(自民党系)より組み替え動議が提出されました。9月14日の総務委員会で時間をかけた審査が済んでいることに加え、今後生活困窮者への対応などのために財政の強化が必要なことから動議に反対し、原案に賛成しました。

来々4月から小平市で建築許可の審査、紛争予防等の手続きなどができるようになり、新しい担当課を設置し専門職を含めた17名が配置されます。このことにより市の方針に沿ったまちづくりがしやすくなるというメリットはありますが、市民の側にたつた紛争の予防などの業務が行われるかチェックが必要です。

小平市高齢者デイサービス センター条例の廃止について

花小金井4丁目にある小平市立デイサービスセンターでは2002年度から通所介護事業を行っています。現在運営している事業者は指定管理期間終了後には事業の継続の意思がないこと、施設設備に問題があること、民間の通所介護事業者が4か所から60か所に増えたことなどから廃止することも止む無しと判断しました。

これまで、市内唯一の公立デイサービスとして困難ケースを受け入れていた役割は市の責任としてほかの方法で担保していくことを望みます。

「本の宅配貸し出しサービスを要介護1以上の方に限定せず、様々な理由で来館が困難な方にも拡大することについて」請願が提出されました。

9月8日生活文教委員会で審査のうち、全会一致で採択されました。一日も早く実施されることを望みます。

ネット議員とおしゃべりタイム

テーマ: (仮) キャッシュレス決済って便利なの?!
市議会議員: さとう悦子、山崎とも子、山浦まゆみ

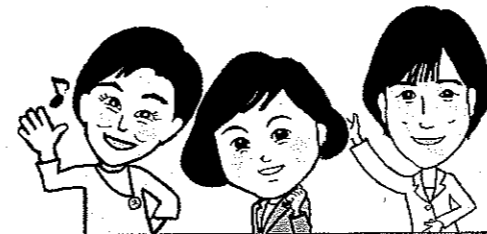
2020年12月9日(水)

時間: 10:30~12:00 場所: 津田公民館(予定)

* 無料。どなたでも参加できます。

お子さんとご一緒でも大丈夫です。直接会場へお越しください。

* 状況により、変更の場合があります。事務所にお問い合わせください。



【お問合せ先】

小平・生活者ネットワーク事務所
小平市学園西町2-15-2 GB一橋学園
電話・FAX/042-342-4494
メール/kodaira@seikatsusha.net

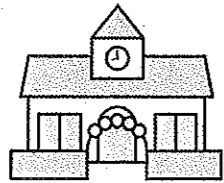
トピックス

待機児童解消のための緊急対策として
今後5年間で保育園を8園増設

市の東側地域の大型マンション開発や宅地開発により保育園への入園希望世帯が増加しています。2020年4月1日時点の待機児童数は昨年より63人増の159人となっており、小平市は待機児童数が都内で3番目に多い自治体です。

市では緊急かつ積極的に対策を実施するとして東側地域で私立保育園を2021年から2025年の5年間に8園増設する予定です。ただ、この8園の内3園は現在ある公立保育園（仲町保育園、津田保育園、花小金井保育園）の民間移行です。

待機児童解消は喫緊の課題であり、対策を行っていくことは重要です。保育園の役割である地域の子育て支援や、配慮を要する子どもや家庭への支援などをどう果たしていくのか、また45園もの保育園の保育の質を市としてどう担保していくのか、生活者ネットワークとして今後も保育のガイドライン作成を要望していきます。



山浦まゆみ 9月議会一般質問報告

多胎育児経験者によるサポート事業で
さらなる育児支援の充実を

補正予算により0～2歳児のいる多胎児家庭向けに乳児健診などの移動時にタクシー券としても使用できる育児パッケージ（商品券）の上乗せが決まったことは喜ばしいが、さらに必要に応じて赤ちゃんを抱っこして同行することができるサポート要員の養成・派遣の仕組みづくりも検討するよう要望しました。また、移動が困難な双子、三つ子の親子向けに、市内の各地域センターや児童館などで子ども広場を月1回でもつくってほしいと要望し、試行的に実施することを検討するとの回答を得ました。



都バスの一部路線で2人乗りベビーカーを畳まず乗れるようにする試行運転を開始するなど、多胎育児支援への理解は広がっている

都市計画公園整備を契機にこれからの
公園管理を考えよう

小川町2丁目に整備予定の鎌倉公園が農業や防災、健康をコンセプトとする公園であると確認しました。小平第十五小学校に近いこともあり、子どもたちの意見も積極的に取り入れ、人がつながりやすく親しみやすい工夫をしていくよう要望しました。

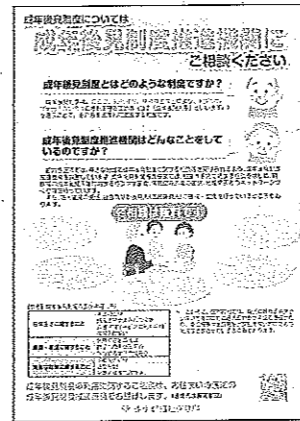
また、こうした大規模公園の整備を契機に近隣小規模公園の役割分担を考えつつエリア単位で管理し、有効に活用していくことを求めました。

山崎とも子 9月議会一般質問報告

住み慣れた地域で自分らしく暮らしていく
ために成年後見制度の利用を

成年後見制度は認知症や障がいなどにより判断能力が十分ではない人が自分の財産と権利を守るための制度です。しかし、市内で将来利用したいと考えている人は2割ほどです。成年後見制度の利用を促すために市民への分かりやすい周知啓発が必要です。

また、被後見人との信頼関係をどうつくっていくのか、地域連携ネットワークの構築など様々な課題を明確にし、今ある他の福祉施策とも横断的に連携できる『成年後見制度利用促進計画』を策定していくことを強く要望しました。



成年後見制度に関するパンフレット

不登校・ひきこもりの当事者と
その家族を支えるために

不登校・ひきこもり当事者や家族は孤立無援で疲弊してしまうケースが大変多いです。相談したいと思った時に相談できるよう、市のHPで相談先の案内ページを作るよう提案し前向きに検討すると力強い答弁がありました。不登校親の会についても各中学校のHPに案内を掲載するよう要望しました。

さとう悦子 9月議会一般質問報告

新型コロナウイルス感染症による生活
困窮への対策について

家賃を補助する住宅確保給付金を申請する人が増えています。苦しい生活を支えるためにフードドライブの活用や、冬物の衣料品などが必要な人に届くためにリサイクルセンターの活用を提案しました。

小平市家庭ごみ、資源の収集について

7月からのレジ袋有料化にともない、ビン・缶・ペットボトルなどをかごや箱での回収を認めること、市指定の収集袋をばら売りにすることを提案しました。また牛乳パックの回収については、地域センターなどでの拠点回収が基本であるものの、雑誌・雑がみの日にも資源回収しているとのことで、周知が行き届いていないことを指摘しました。さらにリサイクルきゃらばんでの衣料品の回収を求めました。

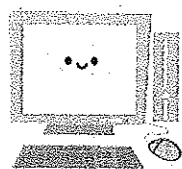
小平市の電力調達にもっと環境の視点を
生かすために

価格は少し上がってしまうが、温室効果ガスの排出削減や環境負荷の低減に取り組む業者と契約できる環境配慮型総合評価落札方式を提案しました。



生活者ネットワークも協力して調査した「東京都内自治体の電力調達の状況に関する調査2020報告書」

議会の様子はインターネットで見ることができます。ぜひご覧ください。
www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/



※掲載したのは活動の一部です。これ以外にもヒヤリングや調査、相談、地域活動など3人の議員がそれぞれ活動しています。

30	29	28	27	26	25	24	23	22	18	17	16	15	14	9	8	5	4	3	2
(水)	(火)	(月)	(日)	(土)	(金)	(木)	(水)	(火)	(金)	(木)	(水)	(火)	(月)	(水)	(火)	(土)	(金)	(木)	(水)
本会議(最終日)／広聴広報特別委員会	文教委員会と教育委員会の意見交換本会議	にじいろパズルWEB懇談会／生活文教委と教育委員会の意見交換本会議	にじいろパズルWEB懇談会	農業グリホサート学習会	にじいろパズルWEB懇談会	幹事長会議	都市基盤整備調査特別委員会	ネット議員とおしゃべりタイム「小平十一小の建て替え・複合化について」	広聴広報特別委員会	環境建設委員会	厚生委員会	生活文教委員会	総務委員会傍聴	5/11(金)一般質問	本会議(初日)	「多胎妊産婦支援の拡充に向けて」WEB講座	用促進に向けた意見交換会	小平市学校給食への地場産農産物利用促進に向けた意見交換会	議会議決委員会
									小平第十一小学校へ複合化する公共施設の検討状況説明会										

28	27	26	25	24	22	20	19	18	15	7	6	5	3	31	30	29	28	27	20	16	15	13	12	11	10	8	
(金)	(木)	(水)	(火)	(月)	(土)	(木)	(水)	(火)	(土)	(金)	(木)	(水)	(月)	(金)	(木)	(水)	(火)	(月)	(月)	(木)	(水)	(月)	(日)	(土)	(金)	(水)	
環境建設委員会	厚生委員会	生活文教委員会	議会議決委員会	議会議決委員会	総務委員会傍聴	子ども部会学習会「インクルーシブ教育に向けた作業療法士の活用」②	種苗法勉強会	T勉強会	種苗法学習会／生活文教委員会・ICT勉強会	福祉部会WEB会議	生活文教委員会商工会懇談	臨時議会	DV学習会／環境部会オンラインセミナー「自治体の電力調達と気候変動政策」	国へ「香書」要望書提出	議会議決委員会	金曜サロン「成年後見制度について」	幹事長会議	「ようちえん選び」の意見交換会	第4次長期総合計画特別委員会	にじいろパズルWEB会議	育に向けた作業療法士の活用①／月例フォーラム「気候温暖化と甚大化する風水害」	子ども部会学習会「インクルーシブ教育に向けた作業療法士の活用」①	視覚障害者協会総会	にじいろパズルWEB会議	広聴広報特別委員会／開発条例学習会	「社会的養護における障がい福祉サービス利用に際しての課題について」WEB会議	ネット議員とおしゃべりタイム「どうする？アプターコロナ・Withコロナの暮らし」

ネット議員の活動日誌



生活者ネットワーク 市議会レポート

2021年1月1日発行 No.46

小平・生活者ネットワーク事務所
電話・FAX▶042-342-4494
メール▶kodaira@seikatsusha.net

政治と生活者をつなぐ



山浦まゆみ 山崎とも子 さとう悦子

10月13日、16日

決算特別委員会

2019年度一般会計は賛成
多数、特別会計は全会一致

2019年度は、家庭ごみ有料化や保育の無償化、消費税が10%に増税、年度終盤は新型コロナウイルスの感染拡大が始まるなど市民生活に影響する大きな変化がありました。

市の財政は歳入総額が約677億、歳出総額は約656億円で経常収支比率が93.7%と余裕のない厳しい財政状況のなかで、いかに無駄をなくし市民生活を充実させる効果的な

第四次長期総合計画 基本構想に賛成

2021年度から12年間を対象とした（仮称）小平市第四次長期総合計画基本構想について賛成多数で可決成立しました。

小平市の最上位にある長期総合計画は、2009年策定の小平市自治基本条例制定以降初めて策定される計画です。市や市民などすべてのまちづくりの主体が進むべき方向性を共有する羅針盤としての役割があり、12年後の小平市の将来像は「つながり、共に創るまち、こいだいら」としています。

この長期総合計画策定では2018年に市民アンケートやワークショップ、学校への出前授業、意見募集などを行い、2019年からは8名の公募市民が入る小平市長期総合計画基本構想審議会を開催し答申まで10回の審議を重ねました。また市議会では2019年9月に小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会を立ち上げ昨年12月まで8回の調査・審査が行われました。

生活者ネットワークとして提案し続けた「子どもの権利」の文言は入っていませんが、すべての子どもに焦点を当てる文言となりました。また都市農業振興の大切さを訴え続け、取り組みの視点として盛り込まれます。

この計画を基にまちづくりがすすむよう今後もしっかりとチェックしていきます。

施策を行っていくかという視点が重要です。市には参加・協働の更なる深化や人口動態を的確に把握し現在の市民ニーズに見合った公共施設マネジメントの取り組み、待機児童対策とあわせて保育の質の充実などを求めました。

コロナ対策に対応するための臨時議会が開催

11月4日に開催された臨時議会では一般会計補正予算第6号について審査されました。主な内容として在宅で高齢者や障

がい者を介護している人がコロナに感染した場合に要介護者を一時的に受け入れる体制を整備する費用、高齢者のインフルエンザ予防接種を無料にするための費用、商工関係では落ち込んだ消費を活性化させるための歳末・年始キャンペーンを行う事業への補助金などが計上され、全会一致で可決されました。

自民党系会派からは、コロナ禍での生活支援にかかる事業がないとの理由から組み替え動議が出されましたが、提案に具体性がないことから否決されました。

12月議会報告

本会議初日には、2019年度決算の認定について5件の議案の採決討論がありました。（4面に記載）

そして、今年度7回目となる一般会計補正予算を含めた34件の市長提出議案、4件の議員提出議案が提出され、審議、議決されました。

学童クラブ指定管理者は全て同じ事業者指定

小学校の放課後に子どもを預かる場所である学童クラブは、現在市の直営のほか指定管理者が運営しています。今回の議案では新規開設、更新含め6校（8か所の指定管理者の選定が行われ、複数の入札があったにも関わらず全てが同じ事業者になりました。

リスクマネジメントの観点からも事業者の多様性は必要であり、その判断には疑問が残ります。またその選定内容については基準が主観的になり得る項目もあり、保護者や子どもたちの声を取り入れていくことが必要です。

今後の選定の課題は残しつつも、審査自体については適正に行われていることを確認。子どもを第一に考えた運営を行っていくよう要望して賛成しました。

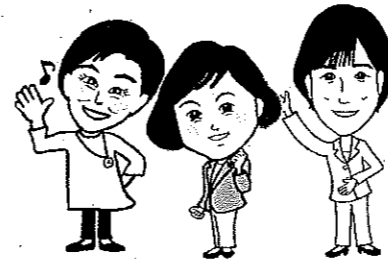
給食センター事業者決定

市立中学校の給食を担う学校給食センターは今回3事業者の入札を経て（株）東洋食品を代表企業とする事業者が決定しました。契約金額は61億3,549万6,959円、契約期間は2037年7月末まで、16年という長い年月と非常に大きな資金を使うこととなります。

事業者は複数の会社で構成され、長期間にわたり建築から管理・運営までを担うため、市としてそれぞれが適正に運営できているかチェックしていく仕組みが必要です。

美味しい給食づくりのための魅力的な提案が多くあったこともその事業者が選定された理由のひとつでした。地場野菜や果物をより積極的に活用し、子どもたちに安心安全でおいしい給食を提供してほしいと思います。

稼働するのは2023年2月からで、現在の小学4年生が中学生になる年です。今年の4月からは、工事が始まるため事業者による弁当給食となりますが、こちらも衛生管理を徹底し子どもたちが楽しめるものを提供してもらえよう要望していきます。



★オンライン ネット議員とおしゃべりタイム

市議会議員：さとう悦子、山崎とも子、山浦まゆみ

テーマ：みんなで話そう！こんな公園あったらいいな。

今後予定されている、市の都市計画公園の話もあります。

2021年3月15日（月） 時間・10:30～12:00

★参加ご希望の方は、3月10日までにメールでご連絡ください。

メール/kodaira@seikatsusha.net

* 無料。どなたでも参加できます。

* 状況により、変更の場合があります。お問い合わせください。

【お問合せ先】

小平・生活者ネットワーク事務所
小平市学園西町2-15-2 CB一橋学園
電話・FAX/042-342-4494
メール/kodaira@seikatsusha.net

女性差別撤廃意見書提出

可否同数のため 議長判断により否決

女性差別撤廃条約(CEDAW)選択議定書の速やかな批准を求める意見書
11年前は全会一致で可決し国に意見書を提出しましたが、なかなか批准されなため再度提出しました。しかし、今議会において否決になりました。

日本は、あらゆる分野における女性の差別を撤廃し性別による差別のない平等な社会の実現を謳った本条約を1985年に批准しました。国は議定書を批准した場合個人通報制度は日本の司法と相いれないとは考えていないとしながらも、調査制度などを含めCEDAWからの受け入れ窓口をどこにするのかについて課題があると、批准を先延ばしにしています。

これまでに雇用機会均等法の制定などの法整備は少しずつ進んできましたが、ジェンダーギャップ指数は153ヶ国のうち121位という状況です。セクハラやDV、さらにはこのコロナ禍で若い女性の自殺の増加により浮き彫りになった賃金格差や働き方の問題など課題は山積しています。一刻も早く条約の実効性を高めるための議定書を批准する必要があります。

トピックス

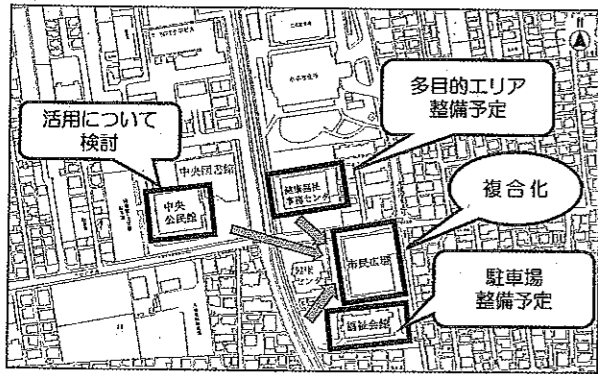
中央エリアの
公共施設マネジメント
設計の進め方が変更

— 新築物の供用開始は2026年に —

進行中の中央エリア・プロジェクトでは中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館を複合化し、新築物を現在の市民広場に建設する予定です。それぞれの建物の解体設計と建築・整備設計を3建物で順次行っていく予定でしたが、事業者へのヒアリングを含めて検討した結果、一体的な設計を行うことに変更されました。より円滑に事業をすすめるため、総コストも2000万円程削減されるとのことです。

これにより、建物の完成が2024年から2026年へと2年後倒しになります。

しかし、今回の決定は公共施設マネジメント調査特別委員会や、公募市民も参加する公共施設マネジメント推進委員会でも決定後の事後報告となり議会で説明不足との声も挙がっています。市の大きなプロジェクトの計画変更は、議会に対して事前に説明されるべきであり、こうしたプロセスの軽視は生活者ネットワークとしても重く見えています。



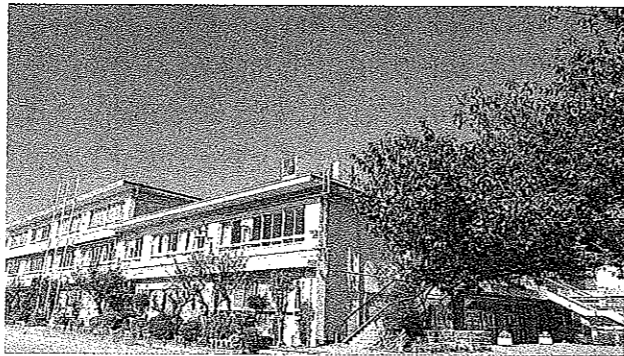
山浦まゆみ 12月議会一般質問報告

市立小・中学校の更新・複合化の前に新たな学校づくりの方針整備を市民とともに

小平十一小は老朽化による更新（建て替え）が決定しており、その際に学童クラブ、花小金井北公民館、花小金井北地域センターを複合化するという方針が示されました。今後他の小中学校も同様に老朽化し更新や複合化が検討されていくことから、今回の更新は今後の学校のあり方にも大きな影響を与えます。

少子高齢化や財政の縮小を見据えた公共施設マネジメントの観点のみではなく、子どもたちの大切な学びの場として、さらには長期的に地域コミュニティの拠点として活用していく公共施設としての視点を持ち、小平市が考えるこれからの教育のあり方をふまえた大きな整備方針を示してほしいと訴えました。

教育委員会からは、全市的な整備方針を前向きな姿勢で検討するとの答弁があり、各学校については地域力を活かして整備していくよう要望しました。



建て替えが決まっている小平第十一小学校校舎

山崎とも子 12月議会一般質問報告

家族介護やケアを担う
ヤングケアラーについて

以前に一般質問で要望した市立小中学校教員に対する研修は、白梅学園大学が行ったヤングケアラーの実態調査報告とともに行ったことが確認できました。地域包括支援センターで開催する家族介護教室の中でもヤングケアラーについて周知していくことを提案し前向きに検討すると答弁があり、確実に実現されるよう注視していきます。

自分らしく生きる社会を目指して
パートナーシップ制度を考える

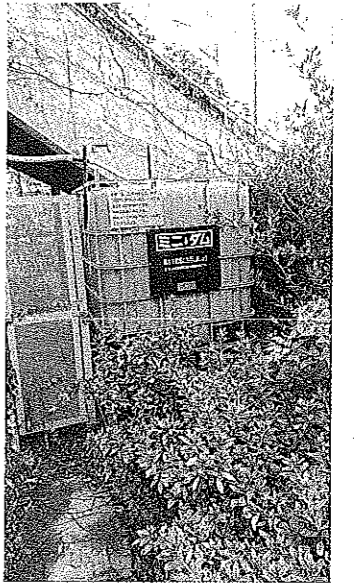
市は性の多様性を尊重するための意識啓発や理解促進、性的マイノリティに寄り添った支援を次期男女共同参画推進計画に盛り込んでいくことを検討しています。パートナーシップ制度の導入について検討する項目を入れるよう要望しました。また、小川駅西口再開発ビル公共床に入る男女共同参画センター「ひらく」でSOGIカフェの開催を提案しました。

くにたち男女平等参画ステーション・パラソルが企画しているSOGIカフェ開催のチラシ

さとう悦子 12月議会一般質問報告

小平市の下水道事業と新対策等について

公衆衛生の観点からみると新型コロナウイルス感染症拡大防止にも貢献している下水道について、維持管理のための財政基盤や、技術の継承について質問しました。豪雨時における雨水浸透と排水のピークを抑えるために雨庭を設置するなどのグリーンインフラの活用と、下水道が持つポテンシャルの一つである下水熱の活用を提案しました。



世田谷区の公衆トイレには被災時にも使用できるよう、150回分の雨水が貯められている。

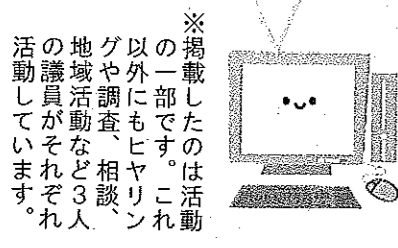
小平市の男女共同参画を推進するために

男女共同参画センターの移転にともない専用スペースがなくなることについて、市民・市民団体に市の考えを一方向的に押し付けることがないよう要望しました。今後運営する中で話し合っていくとの答弁でしたが、男女共同参画社会は、協働の力なくしては実現しえません。

市の男女共同参画推進や協働の考え方に疑問を感じます。ビジョンを描くところから市民・市民団体と共に話し合い、進めていくべきと考えます。

議会の様子はインターネットで見ることができます。ぜひご覧ください。
www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/

- 28 (土) ケアラー聞き取り調査説明会／市民アクション街頭アピール駅前遊説（一橋学園・小平）
- 30 (月) 総務委員会傍聴／厚生委員会議案説明／九小避難準備委員会
- 1 (火) 生活文教委
- 2 (水) 厚生委員会
- 3 (木) 環境建設委員会
- 4 (金) セミナー「まわりの間取り図を作ろう」にじいるパズルオンライン会議
- 6 (日) 第四次長期総合計画特別委員会
- 7 (月) ネット議員とおしゃべりタイム「キヤッシュレス決済について」／金曜サロン「こいだらDV防止ネットワークの活動について」
- 8 (火) 小平・地域協議会ワークショップ／居住支援学習会（オンライン）／議会運営委員会ICTチーム打ち合わせ
- 9 (水) 小平・地域協議会ヒアリング「子どもたちの声を聞く市の取り組みについて」／小平・地域協議会市長懇談／生活者ネットワーク予算要望提出
- 10 (木) 「女性への暴力をなくす」街頭アピール／ケアラー聞き取り調査
- 11 (金) LGBT講座「性別の枠を超えて自分らしく生きられる社会へ」講演会
- 12 (土) 幹事長会議
- 13 (日) 議会運営委員会／ケアラー聞き取り調査本会議（最終日）
- 14 (月) にじいるパズル「インクルーシブ教育って何？」学習会
- 15 (火) 幹事長会議
- 18 (水) 小川駅西口駅前再開発オープンカフェ第四次長期総合計画特別委員会臨時議会
- 20 (金) 総務委員会傍聴／小平商工会との懇談
- 21 (土) 生活文教委員会／12月議会議案説明
- 22 (日) 厚生委員会／フアンリテーター養成講座
- 23 (月) 環境建設委員会
- 24 (火) 幹事長会議／金曜サロン「生活クラブのまちづくりについて」
- 25 (水) にじいるパズルオンライン会議／十一小公共施設マネジメント説明会
- 26 (木) 全国市民政治ネットワーク全国集会（オンライン）
- 27 (金) 議会運営委員会／子どもの貧困に関する聞き取り調査
- 28 (土) 小平・村山・大和衛生組合議会
- 29 (日) 子どもの貧困に関する聞き取り調査
- 30 (月) 市民プラザ「こいだら記念講演会」社会教育で新型コロナウイルスを生きる



ネット議員の活動日誌

- 10月
- 2 (金) 小平村山大和衛生組合議員説明会
- 3 (土) 公園行政についての勉強会
- 4 (日) 学習会「女性と労働」コロナ災害のもとで働く現場は？」
- 5 (月) 金曜サロン「小平市自治基本条例について」
- 6 (火) 第四次長期総合計画特別委員会／特別支援教育総合推進計画委員会傍聴
- 12 (月) 臨時議会補正予算要望書提出
- 13 (火) 16 (金) 決算特別委員会
- 20 (火) 広聴広報特別委員会
- 23 (金) 男女共同参画センター「ひらく」についてのヒアリング傍聴／もんもんカフェ
- 26 (月) 男女共同参画センター「ひらく」について男女共同参画課・公共施設マネジメント課とヒアリング
- 28 (水) 駅前遊説（鷹の台）
- 29 (木) 臨時幹事長会議／臨時議会運営委員会
- 11月
- 1 (日) 小川駅西口駅前再開発オープンカフェ
- 2 (月) 第四次長期総合計画特別委員会
- 3 (火) こだついでんリユース会
- 4 (水) 臨時議会
- 9 (月) 総務委員会傍聴／小平商工会との懇談
- 10 (火) 生活文教委員会／12月議会議案説明
- 11 (水) 厚生委員会／フアンリテーター養成講座
- 12 (木) 環境建設委員会
- 13 (金) 幹事長会議／金曜サロン「生活クラブのまちづくりについて」
- 14 (土) にじいるパズルオンライン会議
- 15 (日) 十一小公共施設マネジメント説明会
- 18 (水) 議会運営委員会／子どもの貧困に関する聞き取り調査
- 20 (金) 小平・村山・大和衛生組合議会
- 21 (土) 子どもの貧困に関する聞き取り調査
- 22 (日) 市民プラザ「こいだら記念講演会」社会教育で新型コロナウイルスを生きる
- 24 (火) 本会議（初日）
- 25 (水) 本会議（初日）

政 務 活 動 費 明 細 書 (1)

項目		資料購入費	(単位：円)	
	内容	数量	金額	
4月22日	都政新報2020年4月分～2021年3月分	1式	21,000	
4月22日	婦人民主クラブ新聞 ふえみん 2020年4月分～2021年3月分	1式	9,152	
4月22日	月刊ガバナンス 2020年4月分～2021年3月分	1式	12,540	
4月22日	自治体情報誌ディーファイル2020年4月分～2021年3月分	1式	60,000	
9月4日	家庭で育てる発達が気になる子の実行機能	1式	1,980	
1月14日	財政状況資料集から読み解くわがまちの財政	1式	1,870	
			-	
			-	
			-	
			-	
			-	
			-	
			-	
			-	
			-	
			-	
			-	
			-	
			-	
			-	
			-	
合 計			106,542	

※項目欄は、調査研究費、研修費、広報費、広聴費等を記入し、それぞれの項目別に用紙で明細を記入してください。

領 収 証

2020年4月22日

生活者ネットワーク 様

下記正に領収いたしました

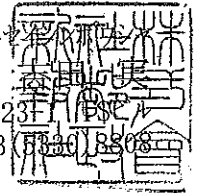
件名	品目	数量	単価	金額(円)
新聞購読料	都政新報 2020年4月～2021年3月	12	(前納料金) 1,750	21,000
合計			税込	21,000

株式会社 都政新報社

代表取締役

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-23

電話 03(5330)8781 ファクシミリ 03(5330)8808



婦人民主クラブ
 〒150-0001
 東京都渋谷区神宮前3-31-18-301
 TEL:03-3402-3244 FAX:03-3401-3453



生活者ネットワーク 様

合計金額 **¥9,000**
 但 新聞代(2020.4-2021.3分)として
 上記通り正に領収いたしました。

内 訳	金 額
新聞代	9,000

備考

手形期日: 年 月 日 No.
 摘 要:

収入印紙



ご利用明細票

お取扱日	店 番	取扱番号
02-04-22		
取扱店		
払込口座		
払込金額	*9,000	料金 *152
	0018046	振替受付票
	196455	払込みの証拠と
	婦人民主クラブ	なるものですから
	〒90100	大切に保存して
	14市学園西町	下さい。
	2-15-2	料金には、消費
	印- 橋本園	税等が含まれて
		います。
		(ゆうちょ銀行)
記号番号	*****	*****

4月からATMの電信振替料金は、1件のご利用につき100円です。

収入印紙

生活者ネットワーク 様

東京都江東区新木場1丁目18番11号(136-8575)

株式会社 ぎょうせい
代表取締役 成吉 弘次
社長

領 収 書

¥12,540.-

金額には消費税及び地方消費税が含まれております。

令和2年4月22日

領収書番号
20200423-4

取扱者

[内訳] 上記のとおり領収いたしました。

品 名	号 数	数量	単価	金額	備考
月刊「ガバナンス」2020年4月号～2021年3月号		1	12,540	12,540	

*本証に領収書番号及び取扱者印のないときは、その責を負いません。

No.

領 収 証

生活者 ネットワーク 様

金額
¥60,000

但自治体情報誌「アイファイン」(2020年4月発行～2021年3月発行)
年間誌代として

2020年 4月 22日 上記正に領収いたしました

内 訳

消費税額等(%)

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8
イマジン出版株式会社
代表取締役 片岡 幸

注文番号 [REDACTED] の領収書 (再発行)
このページを印刷してご利用ください。

再発行日: 2020年11月16日

注文日: 2020年9月4日

Amazon.co.jp 注文番号: [REDACTED]

ご請求額: ¥ 1,980

生活者ネットワーク 様

2020年9月4日に発送済み

注文商品

1点 家庭で育てる 発達が気になる子の実行機能, たく, にしかわ
販売: アマゾンジャパン合同会社

コンディション: 新品

価格
¥ 1,980

お届け先住所:

山崎 智子
[REDACTED]
[REDACTED]

配送方法:

お急ぎ便

支払い情報

支払い方法:

American Express | カード番号の一部: 1009

商品の小計: ¥ 1,980
配送料・手数料: ¥ 0

請求先住所:

生活者ネットワーク

187-0045

東京都小平市学園西町2-15-2

CB一橋学園

注文合計: ¥ 1,980

ご請求額: ¥ 1,980

クレジットカードへの請求

AmericanExpress(下4けたが1009): 2020年9月4日: ¥ 1,980

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

領 収 証

生活者ネット7-7様 2021年 1月 14日

★ ¥ 1,870-

但 書籍代として 財政状況資料集から読み解く
上記正に領収いたしました わがまちの財政

大和田 一敏

内 訳

税率	金額(税抜・税込)	NPO法人 多摩住民自治研究所 〒191-0016 東京都日野市神明3-10-5 江戸川 TEL 042-586-7100 FAX 042-514-8100
%	消費税額等	
税率	金額(税抜・税込)	江戸川自治会 江戸川自治会
%	消費税額等	

コクヨ ウケ-1048